

2008年3月期第1四半期（4-6月累計）連結決算の進捗状況

2007年8月8日
アルプス電気株式会社

(第1四半期：公表値進捗)				(ご参考)		(前年同期比)		
	2007/4-6月 実績	2007/9期 修正予想	進捗 率	当初予想	増減	2006/4-6月 実績	前年同期 差異	増減 率
売上高	1,779	3,470	51%	3,320	150	1,703	76	4%
営業利益	62	95	65%	70	25	73	△11	△15%
経常利益	75	95	79%	55	40	76	△1	△1%
四半期純利益	34	40	85%	15	25	28	6	21%
為替レート(USD)	120.79円	122.04円	5.79円	115.00円	7.04円	114.50円	6.29円	円安
〃 (EUR)	162.72円	164.31円	12.72円	150.00円	14.31円	143.78円	18.94円	円安

(セグメント別売上高：公表値進捗)				(ご参考)		(前年同期比)		
	2007/4-6月 実績	2007/9期 修正予想	進捗 率	当初予想	増減	2006/4-6月 実績	前年同期 差異	増減 率
コンポーネント	253	520	49%	500	20	223	30	13%
磁気デバイス	60	90	67%	70	20	169	△109	△64%
情報通信	129	285	45%	300	△15	141	△12	△9%
ペリフェラル	250	530	47%	510	20	173	77	45%
車載電装	276	545	51%	490	55	227	49	22%
セグメント間売上	22	---	---	---	---	11	11	100%
【電子部品計】	994	1,970	51%	1,870	100	946	48	5%
音響製品	689	1,300	53%	1,250	50	655	34	5%
物流・その他	205	405	51%	405	0	203	2	1%
セグメント間消去	△108	△205	---	△205	0	△102	△6	6%
【合計】	1,779	3,470	51%	3,320	150	1,703	76	4%

① 各事業の概況(対前年同期比)

<電子部品事業>

売上高 994億円(進捗率51%) 営業利益 11億円(進捗率55%)

コンポーネント事業において、主に携帯電話用のコンタクトシートTMやメモリーカード用コネクタ、小形デジタル機器用のスイッチなどが堅調に推移し、売上が増加しました。磁気デバイス事業は、既に公表しているTDK(株)に対するHDD(ハードディスクドライブ)用磁気ヘッドの関連資産譲渡の手続きが概ね計画通りに進行していますが、これに伴い売上が減少しました。情報通信事業では、車載用BluetoothTMモジュールは順調に推移しているものの、デジタルチューナの数量が伸びず、売上は減少しました。また、ペリフェラル事業につきましては、小形プリンタの回復が低調な中、ゲーム関連デバイスが堅調に推移し、売上が増加しました。最後に、車載電装事業は、新車販売台数が前年同期比で鈍化しているものの、自動車の電子化比率の上昇などを背景に好調に推移しており、更に、円安による増収効果もあり、売上が増加しました。全体として、当初公表した売上高予想を上回る見通しであることから、中間業績予想の修正を行っております。

<音響製品事業>

売上高 689億円(進捗率53%) 営業利益 33億円(進捗率73%)

音響機器事業では、市販市場向けには、デジタルオーディオ対応ヘッドユニットの売上が好調に推移しましたが、CDプレーヤーがナビゲーションとの複合化により減少しました。自動車メーカー向けでは、DVDオーディオ等を搭載した新車販売が、好調であったことや、高音質のスピーカーやパワーアンプの搭載が増加し、売上が伸びました。また、情報・通信機器事業では、国内市販市場において、フルセグ対応のカーナビゲーションや、リアシート用大画面・高画質モニターの拡販等により、売上が増加したほか、海外において、ポータブル・ナビゲーションが、北米では好調だったものの、欧米では厳しい状況で推移しました。自動車メーカー向けでは、カーナビゲーションを核とした複合商品の純正搭載率が増加し、且つ得意先の新車販売が好調であったことなどから、売上は好調に推移しました。以上のことに加え、為替の円安効果などを背景に、当中間業績予想が当初の予想を上回る見通しであることから、修正を行っております。

<物流・その他事業>

売上高 205億円(進捗率51%) 営業利益 17億円(進捗率56%)

物流事業では、顧客の物流合理化に伴うアウトソーシング・ニーズやグローバル展開に対応した拡販活動を進めてまいりました。電子部品関連では、国内での輸出入貨物の取扱において、航空→海上輸送への切り替えが進んだこともあり若干の減収となりましたが、中国における子会社を中心に売上が伸びました。また、国内での消費物流にしましても、個配事業を拡大し増収となり、全体としては概ね計画通りに推移しております。

② 電子部品事業の部門別状況

(コンポーネント事業)

第1四半期売上高は、253億円(中間期予想に対する進捗率 49%)となりました。
携帯電話用のコンタクトシート™をはじめとして、メモリーカード用コネクタ、小形デジタル機器用のスイッチなどが堅調に推移しており、車載用センサなども数量が増加しています。第2四半期以降も、順調な生産が見込めると予想しています。

(磁気デバイス事業)

第1四半期売上高は、60億円(中間期予想に対する進捗率 67%)となりました。
HDD(ハードディスクドライブ)用MRヘッドの、TDK(株)に対する関連資産譲渡手続きにつきましては、詳細な内容(譲渡契約の締結等)が確定し次第、公表致します。なお、当中間期の売上高は、受注が当初の見通しよりも若干増加する見通しです。

(情報通信事業)

第1四半期売上高は、129億円(中間期予想に対する進捗率 45%)となりました。
通信系製品として、車載用Bluetooth™モジュールは順調に数量が伸びていますが、放送系製品として各種デジタルチューナの数量が、液晶テレビなどの民生用途向けに増えておりません。なお、第2四半期以降にかけ、チューナをはじめとした受注が徐々に回復しており、新製品の拡販などにより、挽回を図ってまいります。

(ペリフェラル事業)

第1四半期売上高は、250億円(中間期予想に対する進捗率 47%)となりました。
ゲーム関連デバイスやPC用周辺機器(キーボードなど)の生産は概ね計画通りに推移しております。小形プリンタは市場の停滞感から需要が伸び悩み、セットメーカー在庫も余剰気味となっており、生産状況は芳しくありませんが、第2四半期の生産は回復基調に向かっております。

(車載電装事業)

第1四半期売上高は、276億円(中間期予想に対する進捗率 51%)となりました。
特に欧州自動車メーカー向けに、エアコン用パネルやパワーウィンドウスイッチモジュール等の数量が増加しており、為替の円安による増収効果もあり、売上が増加しました。第2四半期以降につきましては、直近の円高の状況は注視しなければなりません、概ね順調な推移を見込んでおります。

③ 為替影響額

当初計画 USD 115.00、EUR 150.00 → 第1四半期実績 USD 120.79、EUR 162.72

売上高

米ドル・ユーロ共に円安に推移したことから、中間期予想に対し、第1四半期累計で**概算56億円の増収要因**
(参考：為替1円に対する売上高への概算影響額 USD 1.9億円/月、EUR 0.6億円/月)

営業利益

米ドル・ユーロ共に円安に推移したことから、中間期予想に対し、第1四半期累計で**概算 6億円の増益要因**
(参考：為替1円に対する営業利益への概算影響額 USD 0.2億円/月、EUR 0.1億円/月)

④ たな卸資産在庫

連結ベースで2007年6月末は、3月末と比べて53億円の増加(3月末 773億円 → 6月末 826億円)。

- ・ 電子部品事業：(同 478億円→491億円(13億円増))
規模変動に伴う事業毎の増減はありますが、水準としては概ね良好です。
- ・ 音響製品事業：(同 288億円→328億円(40億円増))
日欧米共に、OEM市場向け販売が堅調なため、生産増加に伴う製品・仕掛品在庫が増加しています。

⑤ 2008年3月期(通期)の連結業績予想について

本日付で、当中間連結業績予想の修正を行っておりますが、下半期につきましては、今後の業況及び為替の見通しが不透明であることから、現段階での変更は行いません。

(業績予想の利用に関する注意事項)

上記に記載した将来に関する予想数値およびコメントは、本資料の開示日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績等は今後、様々な要因によって予想数値およびコメントと異なる結果となる可能性があります。なお、当文中に記載の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以上

2007年6月第1四半期 決算参考資料

2007年8月8日

アルプス電気株式会社

1. 経営成績 (単位：億円)

	2006年度					2007年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期(予)	通期(予)
売上高	1,703	1,733	1,802	1,841	7,081	1,779	-	3,470	6,670
国内	408	423	486	465	1,784	508	-	-	-
海外	1,294	1,310	1,316	1,376	5,297	1,271	-	-	-
営業利益	73	49	86	10	220	62	-	95	200
経常利益	76	60	95	13	246	75	-	95	180
当期純利益	28	25	9	△14	49	34	-	40	45

2. 製品部門別売上高 (単位：億円)

	2006年度					2007年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期(予)	通期(予)
電子部品事業	946	1,018	1,021	1,044	4,031	994	-	1,970	3,700
コンポ-ネット	223	241	225	235	926	253	-	520	-
磁気ヘッド	169	161	114	80	526	60	-	90	-
情報通信	141	150	123	127	542	129	-	285	-
ペリフェラル	173	237	292	294	997	250	-	530	-
車載電装	227	216	247	280	971	276	-	545	-
セグメント間売上	11	10	18	26	67	22	-	-	-
音響製品事業	655	605	684	706	2,650	689	-	1,300	2,550
物流・その他	203	208	204	200	818	205	-	405	825
セグメント間消去	△102	△99	△108	△109	△419	△108	-	△205	△405
合計	1,703	1,733	1,802	1,841	7,081	1,779	-	3,470	6,670

3. 部門別営業利益 (単位：億円)

	2006年度					2007年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期(予)	通期(予)
電子部品事業	26	15	23	△12	52	11	-	20	50
音響製品事業	27	17	47	8	101	33	-	45	80
物流・その他	17	16	15	15	64	17	-	30	63
消去	1	△0	1	0	2	0	-	0	7
合計	73	49	86	10	220	62	-	95	200

4. 部門別設備投資・減価償却実施額 (単位：億円)

	2006年度					2007年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期(予)	通期(予)
電子部品事業	84	72	55	82	295	78	-	161	288
音響製品事業	23	38	44	20	126	28	-	68	111
物流・その他	7	6	62	13	89	8	-	19	41
消去	△0	△2	△49	△5	△57	△0	-	-	-
合計	114	115	113	110	453	116	-	249	442
減価償却実施額	95	96	98	101	392	101	-	192	373

(注)設備投資については、実績は取得ベースで記載し、予想は発注ベースでリースを含んで記載しております。

5. 部門別研究開発費 (単位：億円)

	2006年度					2007年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期(予)	通期(予)
電子部品事業	44	45	45	44	180	37	-	74	146
音響製品事業	79	79	75	69	303	74	-	150	300
物流・その他	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合計	124	125	120	113	484	111	-	224	447

6. 部門別棚卸資産 (製品、仕掛品、材料・貯蔵品) (単位：億円)

	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6
電子部品事業	573	534	515	478	491
音響製品事業	330	325	363	288	328
物流・その他	6	7	8	7	7
消去	-	-	-	-	-
合計	910	867	888	773	826

7. 従業員数 (単位：人)

	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6
期末従業員数	35,346	37,970	37,297	36,976	38,073
(参考)単独従業員数	5,908	5,908	5,844	5,777	5,952

億円未満は切り捨て表示。